

第75回 日本学校農業クラブ全国大会
令和6年度 岩手大会

農業鑑定競技会

実施要項



スローガン

「舞い上がれ 農クの絆 岩手で咲かせろ 新たな発見」

「輝く稲穂 豊かな自然 おでんせ 岩手へ 未来に広がる農クの輪」

期 日 令和6年10月23日(水)

会 場 岩手県立花巻農業高等学校 体育館

実施担当校 岩手県立花巻農業高等学校・岩手県立北上翔南高等学校

〒025-0004 岩手県花巻市葛第1地割68番地

Tel0198-26-3131 Fax0198-26-3236

目次

| | |
|---------------------------|----|
| 1 期 日 | 1 |
| 2 会 場 | 1 |
| 3 実施担当校 | 1 |
| 4 目 的 | 1 |
| 5 準備・設営 | 1 |
| 6 競技内容 | 1 |
| 7 出場予定選手 | 2 |
| 8 実施委員 | 2 |
| 9 審査員・問題作成 | 2 |
| 10 日 程 | 2 |
| 11 競技の進行 | 3 |
| 12 控室配置図 | 5 |
| 13 競技場内配置図 | 5 |
| 14 会場周辺図 | 6 |
| 15 校内見取り図 | 6 |
| 16 緊急時の対応 | 7 |
| 17 突発事故における具体的対応 | 9 |
| 18 公共交通機関の不通・遅れに おける対応 | 10 |

1 期 日

令和6年10月23日（水）

2 会 場

岩手県立花巻農業高等学校 体育館

〔所在地〕〒025-0004 岩手県花巻市葛第1地割68番地

〔交 通〕JR「花巻空港駅」（徒歩20分）

JR東北新幹線「新花巻駅」（タクシー10分）

3 実施担当校

岩手県立花巻農業高等学校

〔所在地〕〒025-0004 岩手県花巻市葛第1地割68番地

〔電 話〕0198-26-3131 [F A X] 0198-26-3236

4 目的

農業鑑定競技会は、教科の学習や学校農業クラブ活動で身に付けた農業に関する知識・技術を活用し、鑑定・判定・診断・審査・計算等によってその実力を競い合うことにより、職業人として必要となる実践的な資質・能力を高めることを目的とする。

5 実施基準

令和6年度全国大会実施基準に準ずる。

6 競技内容

- (1) 競技は令和6年度全国大会実施基準に準ずる。
- (2) 実施分野は作物・野菜・果樹・草花・畜産・食品・森林・農業土木・造園・生活の10分野とする
レーンについては、野菜・食品は各2レーンとし、その他の分野は各1レーンとする。
- (3) 問題は、各分野40問で、出題形式は20秒の択一式問題と記述式問題、40秒問題とする。
- (4) 競技者同士の間隔は、1問（20秒）おきとする。
- (5) 40秒問題は、2回目の合図で移動する。
- (6) 競技会場への筆記用具以外の持込は認めない。不正行為を防ぐため、控室への電子機器（携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、タブレット端末、ミュージックプレーヤー、電卓、以下電子機器類と表記）の持込を禁止する。また、貴重品（財布等）も事前に引率者に預けること。
- (7) 競技者名札は、係員に見えやすい位置に付ける。名札を付けていない者は競技会場への入場を認めない。
- (8) 受付終了後、最初の競技者が終了した後の遅刻については出場を認めない。ただし公共交通機関の遅れ、大会事務局が手配したシャトルバスの遅れについては考慮する。
- (9) 競技開始後は、控室で待機する。体調不良などにより控室から一度外に出る場合は、先に競技が終わった競技者と接触しないよう係員の指示に従って行動する。
- (10) 競技が終了した競技者は、誘導に従い、控室に戻り待機する。
- (11) 昼食は、校舎外等の指定された場所でとる。
- (12) 競技者・引率者ともに上履きを持参する。また、靴を入れる袋を準備する。

7 出場予定選手

999名

8 実施委員

| | | | |
|----------|---------------|---------|------|
| 生徒実施委員長 | 岩手県立花巻農業高等学校 | 生物科学科3年 | 藤田唯笑 |
| 生徒実施副委員長 | 岩手県立花巻農業高等学校 | 食農科学科3年 | 菊池結華 |
| 日連専門委員 | 神奈川県立中央農業高等学校 | 統括教諭 | 登健太 |
| 日連専門委員 | 東京都立園芸高等学校 | 教諭 | 渡丸瑛梨 |
| 実施委員長 | 岩手県立花巻農業高等学校 | 校長 | 沼澤信典 |
| 実施副委員長 | 岩手県立北上翔南高等学校 | 校長 | 千葉勝幸 |
| 実施主任 | 岩手県立花巻農業高等学校 | 教諭 | 大畑克己 |
| 実施副主任 | 岩手県立北上翔南高等学校 | 教諭 | 高野光生 |

9 審査員・問題作成

部外秘

10 日程

(1) 競技日程

| 期日 | 行 事 | 時 間 | 会 場 |
|---------------|---------|---------------|-----------|
| 10月23日 (水) | 受 付 | 9:00 ~ 10:00 | 各控室廊下 |
| | 開会式・説明 | 10:00 ~ 10:15 | 各控室教室(放送) |
| | 競技【全区分】 | 10:45 ~ 12:30 | 体育館 |
| | 昼 食 | 12:30 ~ 13:30 | 校舎外・引率者控室 |
| | 一般公開 | 13:30 ~ 14:30 | 大会HPにて公開 |

(2) 開会式次第

ア 開会のことば

生徒実施副委員長 岩手県立花巻農業高等学校 食農科学科3年 菊池結華

イ 生徒実施委員長あいさつ

生徒実施委員長 岩手県立花巻農業高等学校 生物科学科3年 藤田唯笑

ウ 実施委員長あいさつ

実施委員長 岩手県立花巻農業高等学校 校長 沼澤信典

エ 競技説明(競技上の注意)

審査長

オ 閉会の言葉

生徒実施副委員長 岩手県立花巻農業高等学校 食農科学科3年 菊池結華

(3) 競技開始宣言(10:45)

生徒実施委員長 岩手県立花巻農業高等学校 生物科学科3年 藤田唯笑

11 競技の進行

(1) 競技進行 (全体)

ア 競技者・引率者等 会場到着 (シャトルバス等) 9:00~

- ① シャトルバスは、空港側道路に路上駐車する。(車両は一切入校できない。)
- ② 駐車場係の指示に従い、指定の場所で降車後、各受付に移動する。
- ③ 競技者は、案内板に従い、受付を行った後、競技者控室で待機する。
- ④ 競技者控室には、大きな荷物は持ち込めない。また、控室には**電子機器類**の持込を禁止する。貴重品(財布等)は、事前に引率者に預ける。
- ⑤ 筆記用具(鉛筆・シャープペンシル・消しゴム)を必ず持参する。原則貸し出しはしない。
- ⑥ 引率者は、案内係の指示に従い、引率者受付に移動する。

イ 受付 9:00~10:00

- ① 競技者は、生徒昇降口で上履きに履き替え、事前配付の控室配置図を見て控室に移動する。
靴は持参した袋に入れ、控室に持ち込む。
※ 電子機器類、貴重品は持ち込まない(引率者に預ける)。
- ② 受付で出場票を提出し、名札を受け取る。
- ③ 控室では、指定された座席につき、大会資料の内容物の確認を行う。
(競技者の大会資料は控室の座席に置いてある。)
- ④ 引率者(校長含)及び生徒見学者は、各受付にて大会資料と名札を受け取り、引率者控室に移動する。
- ⑤ 受付場所
競技者……………各控室教室及び実習室・多目的ホール前廊下
来賓・校長・引率者・視察団・見学者……正面玄関前
- ⑥ 控室
競技者……………各教室及び実習室・多目的ホール
引率者・見学者……………地人会館
校長……………応接室(本校舎1階)
来賓……………応接室(本校舎1階)
視察団……………図書室(本校舎3階)

ウ 控室待機

- ① 競技者 999名
- ② 受付を行った後、控室の指定された席に座って待機する。
(勉強可。電子機器等は使用不可)
- ③ 9:50までにトイレ等を済ませておく。

エ 開会式・説明 10:00~10:15

- ① 開会式、競技説明は放送にて行う。
- ② 待機場への誘導開始まで控室で待機する。

オ 移動開始 10:30~

- ① 誘導係の指示により筆記用具(鉛筆・シャープペンシル・消しゴムのみ)を持ち、誘導係のプラカードの番号毎に一団となって待機場(本校舎3階)へ移動する。
- ② 出場番号順番に出発し、誘導係の指示により順番に移動を開始する。移動の際には預けていない貴重品(財布等)は必ず身につけること。

カ 待機場 ~10:45

- ① 指定された場所に待機し、誘導係・待機場係の指示に従い移動する。
- ② 解答用紙とバインダーを受け取り、学校名・氏名・分野名・競技者番号等の記載に間違いがないか確認し、マークの塗りつぶし等必要事項を確認する。
- ③ 待機場係の点検を受け、不備がある場合には訂正する。
- ④ 持ち込み禁止物(電子機器類等)の最終確認を行う。
※所持していた場合は、待機場係で預かり、競技終了後に控室で返却する。
- ⑤ 誘導係の指示により、競技会場(体育館)へ移動する。

キ 競技開始 10:45

- ① 第1仕切り幕前に<先導>が並び出場番号1番~5番の競技者が待機する。
- ② 待機完了後、実施委員長が放送で「競技開始宣言」を行い競技開始とする。
- ③ 合図1音で出場番号1番の競技者は第2仕切り幕前に移動する。
次に合図2音で競技会場に入る。(1音と2音は異なる音色)
- ④ 2番以降同様に、1音で第2仕切り幕前に移動し、2音で競技会場に入る。
(1間分競技者と競技者の間が空く。)以降この繰り返し。
- ⑤ 欠席者の位置にはダミー選手を入れる。
- ⑥ 第1仕切り幕前までは、誘導係、仕切幕係の合図(1音)で1列ずつ移動する。
- ⑦ 第2仕切り幕前からは、誘導係、仕切幕係の合図(2音)で競技場に入り、問題を解答する。
- ⑧ 解答用紙をバインダーに付けたまま回収係に渡し、誘導係の指示で順路の表示に従い退場する。

ク 競技終了

- ① 競技を終了した競技者は、誘導係の指示で体育館東側を通過して、各控室に戻る。
- ② 競技終了後、実施委員長が放送で「競技終了宣言」を行うまでは、指定された控室内で待機する。

ケ 昼食(希望する学校のみ) 12:30~13:30

- ① 昼食は校舎外等でとり、立ち入り禁止場所には入らない。
- ② 弁当の空き容器は配付場所に13:30までに返却する。なお、ゴミ箱の設置がないため、持ち込んだゴミ等は各自持ち帰る。

コ 一般公開・正当表(大会HP掲載) 13:30~14:30

- ① 掲載時間を指定し、大会HPにて掲載する。
- ② 質問等は13:30~14:30に大会HPよりFax・質問票にて受け付ける。

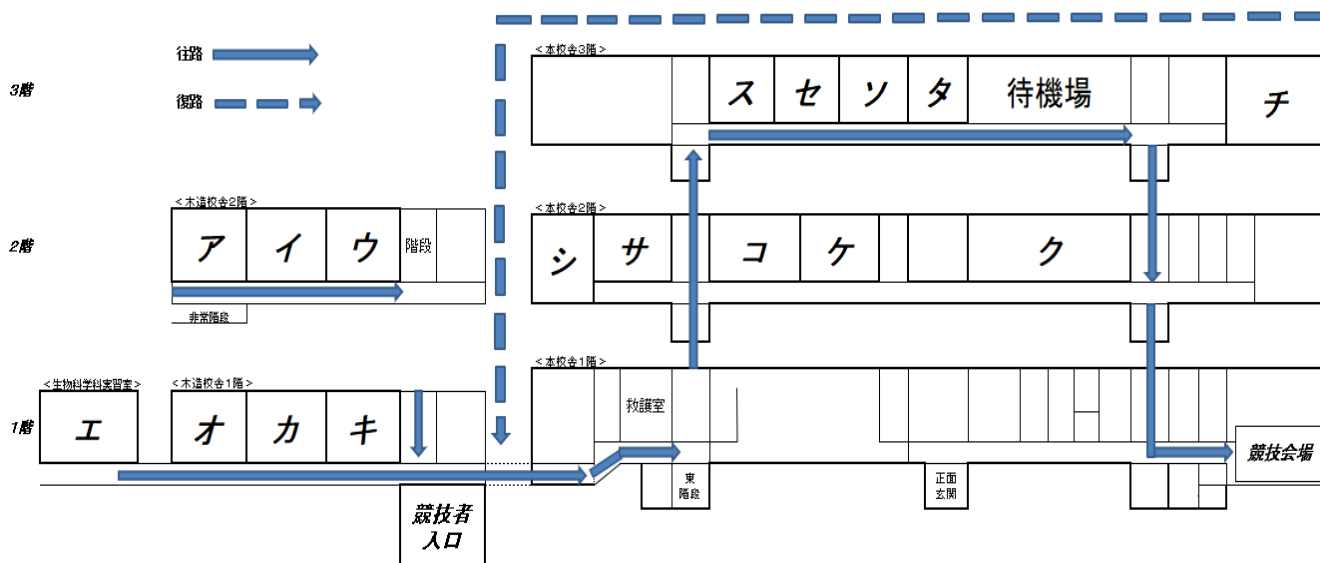
(2) 突発事故の対応

- ア 急病・体調不良等は、9ページの「緊急時の対応」を参照する。
- イ 地震等の災害が発生した場合には、実施委員長が競技の続行・中断・中止の判断を行う。
(中断・中止をする場合は、実施委員長が放送で指示を行う。)

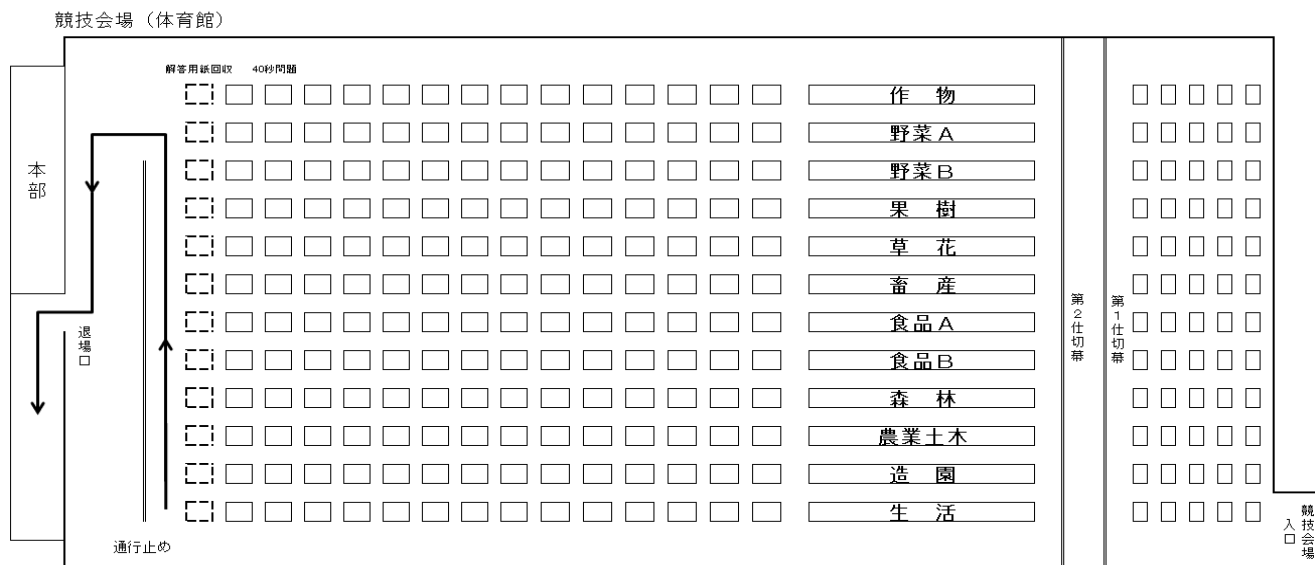
(3) 審査結果・表彰

- ア 各分野の入賞者は、式典当日に発表する。
- イ 最優秀賞受賞者は式典で発表される。
- ウ 最優秀賞受賞者のうち1名を文部科学大臣賞受賞者として推薦する。

1.2 控室配置図



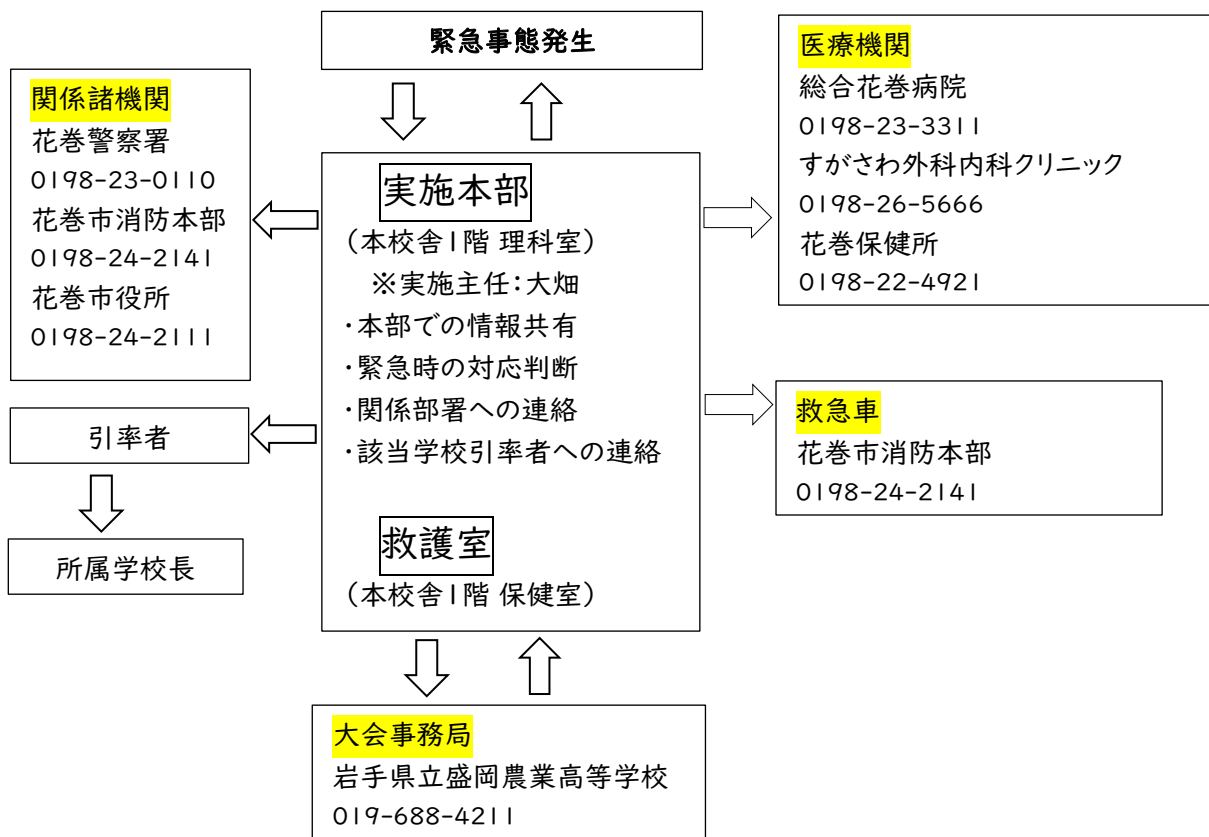
1.3 競技場内配置図



1.6 緊急時の対応

農業鑑定競技会の会場における緊急時の体制は、以下のとおりとする。緊急事態発生の場合は、農業鑑定競技会実施本部（以下「実施本部」とする）、または実施担当校職員に連絡する。

- (1) 大会運営で緊急時やご不明な点は、実施本部に尋ねる。
- (2) フローチャート



(3) けが・急病・体調不良等への対応

- ア 緊急時は最寄りの実施担当校職員または実施本部（本校舎1階の理科室）に連絡をする。なお、救護室は養護教諭が常駐する。
- イ 競技の運営上、館内放送をすることができません。緊急時には、参加申し込みされた引率者に連絡するため、引率者控室付近で引率者控室担当が待機しておく。
- ウ 養護教諭を派遣し養護教諭が応急処置を行う。状況に応じて救急車、病院搬送の手配をする。
- エ 重病・重傷の場合は、まず現場より救急車を手配する。その後、実施本部にも連絡する。
- オ AED（自動体外式除細動器）は、職員室および第1体育館入口に配置する。

(4) 不審者・不審物

不審者・不審物を発見した場合は、実施担当校職員へ連絡する。状況に応じて、実施本部または実施担当校職員が警察に連絡する。

- ア 緊急を要しない場合 → 現場へ警備係職員を派遣し対応する。
- イ 緊急を要する場合 → 避難指示を行い、安全を確保のため警備係職員を現場に派遣する。
- ウ 状況に応じて、警察への連絡を実施本部（実施担当校職員）で行う。
※実施本部への連絡は、連絡を受けた実施担当校職員が行う。

(5) 台風及び警報発令時の対応

10月23日(水)に、花巻市に暴風・大雨等に関する警報が発令中又は発令の可能性が高い時は、次のア～クの手順に従って判断し、競技の実施について対応する。なお、情報収集手段は、盛岡地方気象台、国土交通省防災情報提供センター、報道機関等とする。ただし局地的な気象の場合はその都度、実施本部で判断対応する。

ア 午前5時に暴風・大雨に関する警報発令中の場合

(ア) 宿舎で待機するよう実施本部からHPをとおして連絡する。

(イ) 注意報の場合は予定どおり実施する。

イ 午前6時の時点で警報が解除された場合

予定どおり実施する旨を実施本部からHPをとおして連絡する。

ウ 午前7時の時点で警報が解除された場合

大会事務局での協議により、予定どおり実施する。

ただし、1時間遅れで実施できると判断した場合は、その旨を実施本部からHPをとおして連絡をする。なお、遅れて開始する場合は開会式等を省略することもある。

エ 午前8時の時点で警報が解除された場合

大会事務局での協議により、1時間ないし2時間遅れで実施できると判断した場合は、その旨を実施本部からHPをとおして連絡をする。なお、遅れて開始する場合は開会式等を省略する。

オ 午前9時の時点で警報が解除された場合

大会事務局での協議により、2時間ないし3時間遅れで実施できると判断した場合は、その旨を実施本部からHPをとおして連絡をする。なお、開会式等は省略する。

カ 午前10時の時点で警報が解除された場合

大会事務局での協議により、3時間遅れで実施できると判断した場合は、競技を行う旨を実施本部からHPをとおして連絡をする。ただし、12時までに競技が開始できないと判断した場合は中止とする。

キ 午前10時以降に警報が発令されている場合

競技会を中止する旨を実施本部からHPをとおして連絡をする。

ク 競技日程の時間内に発令の可能性がある場合は、大会事務局での協議により実施の有無の判断を行う。

(6) 地震・火山噴火等発生時の対応

地震及び火山噴火等が発生した場合は、盛岡地方気象台及び報道機関等の情報を入手・分析し、参加者の安全確保のための適切な対応を行う。

ア 震度5強までの地震が発生した場合

一時的に競技を中断し、被害発生の有無を確認してから再開する。その後の扱いは「突発事故に関する対応」に従う。

イ 震度6弱の地震等が発生した場合

施設管理者(実施委員長)の指示に従い、競技の開始または再開が可能か否かを判断する。中止せざるを得ないと判断される場合は、大会事務局で協議し、次善策を講じる。

ウ 大震災に匹敵する地震等が発生した場合

期日と時刻を勘案しながら、参加者の安全を最優先に対策を協議する。この場合の協議関係者・連絡方法は想定できないため、緊急対応になる。

エ 他の地域で大規模な災害等が発生した場合

情報収集に努め、関係学校の引率者・競技者に知らせる。

(7) 全国瞬時警報システム(Jアラート)発令時の対応

全国瞬時警報システム(Jアラート)が発令された場合は、大会事務局で協議し、参加者の安全確保のため適切な対応を行う。

ア 10月22日(火)にJアラートが発令された場合は以下のとおり対応する。

全国いずれかの地域で全国瞬時警報システム(Jアラート)が発令された場合、リハーサルは可能な限り予定どおり実施する。

イ 10月23日(水)にJアラートが発令された場合は以下のとおり対応する。

(ア) 岩手県内で午前7時まで「屋内避難等呼びかけ」があった場合は、大会事務局で協議し、警報発令中は各宿舎で待機する旨を実施本部からHPをとおして参加者に連絡する。警報解除後は、大会事務局で協議し、実施する。遅らせて実施する場合はその旨を実施本部からHPをとおして参加者に連絡する。

(イ) 競技の開催中に「屋内避難等の呼びかけ」があった場合は、競技等を中断し、屋外にいる参加者は実施担当校職員の指示のもと、安全を確保した上で建物内または避難場所に避難する。

警報解除後は、被害の有無を確認し、大会事務局で実施の有無を協議する。

(8) その他

ア 火災・落雷及び停電時の対応

(ア) 火災が発生した場合は、実施担当校職員または実施本部に連絡する。

(イ) 競技を中断し、被害発生の有無を確認してから再開する。その後の扱いは「突発事故における具体的対応」に従う。

(ウ) 避難の場合は、実施担当校職員や実施本部の指示のもと、安全を確保した上で避難場所に避難する。実施本部が消防署へ連絡する。

(エ) 落雷の恐れがある場合、安全が確保されるまで屋内で待機する。

(オ) 競技開催中に停電が発生した場合は、競技を中断し、復旧及び電源が確保された後、競技を再開する。なお、審査等の扱いについてはマニュアルに沿って進め施設管理者(実施委員長)の判断を仰ぐ。また、停電による影響がない場合、競技は中断しない。

1.7 突発事故における具体的対応

(1) 突発事故とは

関係用具、設備の故障、停電及び競技者の急病、地震や火災の発生、その他実施委員長が認めたものをいう。

(2) 突発事故発生時の対応

ア 突発事故が発生した場合は、速やかに実施本部へ連絡し、その指示に従って対応する。

イ 競技中断及び競技再開については大会事務局で協議し、実施委員長が決定する。

ウ 連絡の手順

(ア) 競技者が競技中に体調不良となった場合

a: 競技会場に入る前

救護室に誘導し、競技はダミー競技者を入れて進行する。体調が改善されれば、最後に順番をまわして競技させる。なお、競技時間内に体調が改善されない場合は、大会事務局で協議し審査長が判断する。

b: 競技会場に入った後

途中退場した場合には、棄権扱いとし再競技を認めない。

(イ) 停電・地震・火災等の場合

大会事務局で協議し、対応方法を判断する。

a: 停電・マイク故障した場合

競技を継続させるが、30秒以上状況が改善されない場合は、実施委員長が中断をアナウンスする。中断後、状況が回復した場合、大会事務局で協議を行い、実施委員長の判断のもと引き続き同じ問題から競技を再開させる。

(ウ) 地震の場合

a: 小さな揺れを感じた場合

競技を継続させる。

b: 大きな揺れを感じた場合

揺れの程度により、競技の継続が困難な場合、実施委員長が競技を中断し、係員の指示に従って避難する。安全が確認された段階で、大会事務局で協議を行い、実施委員長の判断のもと引き続き同じ問題から競技を再開させる。

c: 震度6弱以上の揺れが発生した場合

「不測の事態における対応<<地震・火山噴火等発生>>」に準ずる。

(エ) 雷雨・落雷の場合

大会事務局が競技に支障をきたすと判断した場合、実施委員長が競技を中断する。落雷の影響がなくなった段階で、大会事務局で協議を行い、実施委員長の判断のもと引き続き同じ問題から競技を再開させる。

(オ) 火災の場合

発生時は実施委員長が競技を中断し、体育館・待機場・控室の競技者とともに避難場所であるグラウンドへ実施担当校職員の指示に従って避難する。安全確認後、大会事務局で協議を行い、実施委員長の判断のもと引き続き同じ問題から競技を再開させる。

1.8 公共交通機関の不通・遅れにおける対応

(1) 交通機関の乱れ(遅れ)

公共交通機関や大会事務局手配した交通機関が予定どおり運行できない場合は、必ず出場者から大会事務局まで連絡をする。大会事務局で協議し、出場者が不利益にならないよう最大限の配慮をする。

(2) その他

出場者が欠席または遅刻する場合は、大会事務局に事前に連絡する。

連絡先 農業鑑定競技会大会事務局 0198-26-3131

農業鑑定競技会実施本部 実施主任 携帯 090-7339-0820(大畑)

[連絡内容] 学校名 氏名 競技者番号 理由(路線バスが不通のためなど)

※遅延者の対応は大会事務局で協議する。